

第17回入学式挙行

4月6日に第17回木曾青峰高等学校入学式が挙行されました。全日制普通科35名、理数科24名、森林環境科30名、インテリア科19名、定時制普通科2名の計110名の新入生が入学しました

木曾青峰高等学校長 西林 昭隆



木曾谷の桜も例年になく早い開花を迎えております。日中の日差しも春らしい柔らかさをもつて大地を温める季節となりました。

入学生の皆さん、入学おめでとう。ただいま、入学を許可いたしました全日制108名、定時制2名の併せて110名の皆さんを、木曾青峰高校は心から歓迎いたします。

さて、これから皆さんが学ぶ木曾は豊かな自然環境に恵まれた地域です。御嶽と中央アルプスのふもとを木曾川が流れ、木曾川の浸食で生じた土壌が木曾の豊かな森を育ててきました。ここに暮らす我々は、その自然の響を受けながら生活しています。例えば人の体の50%から60%は水分です。その源は空から降り注ぐ雨が大地に染み、湧き出したものです。雨が地下を通過するとき大地の成分が溶け込み飲み水となります。我々は木曾の自然が作り上げた水によって体の半分が作られているのです。これから青峰で学ぶ皆さんは、この木曾の自然の中で学び、それを血と肉に変え次のステップへ進む糧としてほしいと思います。

ではどうすれば、青峰高校での学びが皆さんの血と肉に代わっていくのでしょうか。

一つ目は、自身の興味の幅を広げるために多くの人と出会うことです。

高校生活では、別の中学校の友人、県内外の様々な場所から集った先生、地元で活躍する様々な職業人との出会いが待っています。これらの人と出会いは、自分の周りには多くの人々が様々な立場でかわっていることを知るきっかけにもなります。例えば学校も、教員と生徒だけで成立していません。事務処理を担当する事務室の先生、学校生活が快適に過ごせるよう整備する学校技師の先生、クラブ活動や授業のサポートをする外部講師の先生、そして教育委員会の先生など様々な役割の人がいて初めて成立しています。

今、あなたが思い描く将来の職業でも、いろいろな役割の職種の方がいて成立しているものです。高校の進路研究では、自分が将来やってみたいことだけでなく、その周辺の職業まで視野を広げて、自身の適正と合致するものを選んでください。

二つ目は「主体的な」学びを心掛けてほしいということです。知識を身につけるには二つの方法があります。一つ目は、自分の興味があることを自分でどんどん調べていく方法です。興味があるものに人はどんどん自分から取り組んでいきます。これは知識を深めるときに有効です。もう一つは教科書などから幅広い知識を身につける方法です。自分にとつてあまり興味なかった知識を得ることは、より多角的な視点で物事を見、考え、行動する際に必要になります。これら二つの習得方法を使い、知識の幅と深みを増してほしいと思います。

そして、発表などを通じ発信する機会を大切にしたいと思えます。皆さんの周りの先生方は、そのためのサポートにいろいろな環境で待っています。安心して取り組んでください。最後になりましたが、このように式が挙行できることを感謝し、ここにお集まりのすべての皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。式辞といたします。

一年二組 小瀬木 颯 【普通科・大桑中卒】

(入学式 宣誓書より一部抜粋)

少しづつ日常を取り戻しつつあるとはいえ、まだまだ新型コロナウイルス感染症の完全終息には程遠い中、多くの皆様の御協力によりこのような式が執り行われることに心より感謝申し上げます。

私たちの中学校生活は新型コロナウイルスの蔓延とともに始まりました。マスクの着用や消毒、検温といった様々な制限がある中、休校や文化祭の規模縮小など、私たちが思い描いていたような中学校生活を送ることはできませんでした。

しかしそんな中でも、全校で知恵を出し合い、新しい形で様々な行事や活動を行ってきました。苦しくはありましたが見方を変えれば「普通の生活」では培えなかった力を得られた時間であったともいえます。

三年間の中学校生活での経験は、今日から始まる高校生活でも必ず力になると思えます。学業は言うに及ばず、高校でも仲間と力を合わせながら、日々の生活やひとつひとつの行事をより良い物にしていきたいです。また、これから始まる生徒会活動や部活動といった特別活動に関しても積極的に取り組み、社会に貢献できるようなスキルを身につけていきたいと思えます。



対面式・クラブ説明会 4月7日(金)

生徒会長 3年1組 理数科 / 登里 友衣子【開田中卒】

1年生の皆さんご入学おめでとうございます。これから始まる高校生活に期待と不安も少しあると思います。文化祭やクラスマッチなど全力で楽しんで下さい。高校生活は、あっという間に過ぎていきます。そこで皆さんに夢中になれることや目標をもち、自分から積極的に行動してほしいと思います。なぜなら、そうすることで高校生活が何十倍も豊かになると実際に2年間過ごして感じたからです。何気なく過ごすのではなく、ぜひ充実した日々を青峰で送って下さい。



コロナ禍により生徒会役員・文化祭実行委員と新入生のみ参加



生徒会スローガン紹介

しんしゅかかん
「進取果敢」

「新しいアイデアが出てきたら失敗を恐れずにどんどん取り組んでいく」という決意を込めました。



文化祭スローガン紹介

「film
～一瞬を永遠に～」

一瞬が永遠に思い出として残る文化祭にしたい
自分たちにしか造れない忘れられない文化祭にしたい



新入生歓迎アート

製作者 文化祭アート係

係長 青木 和 (3年1組)
副係長 竹原 憧 (3年2組)
副係長 中野 やえ (2年3組)
協力 書道部・美術部

クラブ結成式 4月14日(金)

クラブ説明会後、興味あるクラブに1週間の体験入部し、クラブ結成式に参加しました。

運動部 12団体

- ①バスケットボール
- ②ソフトテニス
- ③バドミントン
- ④バレーボール
- ⑤サッカー
- ⑥ハンドボール
- ⑦陸上競技
- ⑧野球
- ⑨剣道
- ⑩卓球
- ⑪弓道
- ⑫相撲

文化部 11団体

- ①演劇
- ②英語
- ③食物・料理
- ④美術
- ⑤書道
- ⑥被服・手芸
- ⑦茶道
- ⑧天文
- ⑨吹奏楽
- ⑩軽音楽
- ⑪コンピュータ

同好会 5団体

- ①山岳
- ②文芸
- ③自然科学
- ④合唱
- ⑤スキー

定時制

定時制では4月5日に始業式と新任式が行われ、新たに4名の先生をお迎えしました。6日の入学式では2名の新入生が入学し、7日には「対面式・クラブ説明会」が行われました。上級生の温かい雰囲気に包まれて、新入生も新しい生活を順調にスタートできました。



新任式



入学式



対面式



今年度もスクールマガジンを発行します。このスクールマガジンを通じて本校の様子を中学生及び地域の皆さんに紹介させていただきたいと思います。また本校のウェブサイトもあわせてご覧いただければ幸いです。

■木青青峰高等学校 教務室 Tel : 0264-22-2315 / Fax : 0264-21-1056 URL : <https://www.nagano-c.ed.jp/seiho/>